



卒業生を代表し答辞を述べる徳永藍子さん
15日午前、松山市桑原3丁目



修了証書を受け取る修了生代表(右)
15日午前、松山市北条

学び糧に 門出の春

松山東雲女子大・短期大の卒業式が15日、松山市桑原3丁目の学内チャペルであった。華やかなはかま姿などの卒業生294人が晴れやかな笑顔で学びやを巣立った。式は賛美歌が響く厳かな雰囲気が始まり、新型コロナウイルス禍で中止

聖カタリナ大・短期大学の卒業式と大学院の修了式が15日、松山市北条のキャンパスであり、計252人が新しい舞台への一歩を踏み出した。2022年開設の大学院からは初の修了生3人が出席した。坂原明学長が各代表に卒業証書などを手渡し、他

松山東雲女子大・短大

笑顔と感謝 294人卒業

「小さな努力の継続と、夢へのスタートラインに立ち続けるモチベーションを保ち続けてほしい」と激励した。卒業生を代表し女子大心理子ども学科の小幡詩音さん(22)が「コロナ禍を乗り越え支え合いながら過ごした日々は、耐えることの意味を教え、大

(中鋪晴子)

聖カタリナ大・短大

252人 初の院修了生も

者を理解し、他者の幸せを考える人になってほしい」とエールを送った。答辞で短大保育学科の城島千穂さん(20)は「子どもの目線になって関わることが出来る保育士になる」と力強く語り、大学健康スポーツ学科の沖野彩華さん(22)は「仲間

15日現在の就職内定率は大学97・4%、短大97・7%。(野田真子)